



必要です！ 保育が必要な理由

いずれかに該当する場合、2号または3号認定が受けられます

- ①月48時間以上の就労 ②産前産後 ③保護者の疾病・負傷・障害 ④同居親族の介護 ⑤災害復旧
⑥求職活動中 ⑦就学・職業訓練 ⑧児童虐待やDV

※すでに①の理由で保育施設を利用している子どもについては、保護者が下の子どもの育児休業に入っても下の子どもが1歳になる日の属する年度末まで、①～⑧の理由がなくても引き続き施設を利用できます。



確認しておこう！ 次の場合には・・・

該当する人は次の点に注意してください



来年度途中の
入園を希望する人

来年度の途中で保護者の産休・育休期間が終わり、その時点からの入園を希望する場合も、期間内に申し込みが可能です。



出産予定がある人

令和2年度内に入園を希望する場合に限り、出産予定での申し込みが可能です。

在園児向け

10月から幼児教育・保育の無償化がスタート！

3～5歳^{※1}の子どもを対象に幼児教育・保育の無償化が始まります。無償化の対象となるために事前手続きが必要な場合があるので確認しましょう。なお、幼稚園などを利用している人には施設を通じて申請書を配布します。

施設		料金	手続き
幼稚園 など	幼稚園	月額25,700円を上限に給付	要
	認定こども園(1号認定)	無料	—
	教育時間前後の預かり保育 ^{※2}	利用日数×日額450円を給付 ^{※3}	要
保育園、認定こども園など(2号認定)		無料	—
認可外保育施設、一時預かり、病児保育、ファミリーサポートセンター ^{※4}		月額37,000円を上限に給付	要 ^{※5}

- ※1 3～5歳とは、満3歳になった後の4月1日から小学校入学前までの3年間です。幼稚園、認定こども園(1号認定)は、入園できる時期に合わせて満3歳から無償化されます。
※2 保育の必要性の認定を受けた場合に限ります。
※3 月額11,300円を上限(住民税非課税世帯の満3歳児のみ月額16,300円を上限)。
※4 保育園などを利用しておらず、保育の必要性の認定を受けた子どもが対象。
※5 図保育課で手続きをしてください(認可外保育施設は施設を通じて申請書を配布)。



確認しておこう！ 0～2歳までの 住民税非課税世帯の子ども

保育料は、原則無料となります。また、保育園などを利用していない子どもで、認可外保育施設や一時預かり、病児保育、ファミリーサポートセンターを利用した場合は、月額42,000円を上限に給付します。



知っておこう！ 無償化の対象となる範囲

保育園、認定こども園など(2、3号認定)で延長保育を利用した場合の延長保育料は無償化の対象外です。また、主食費(ごはんやパン)、副食費(おかずやおやつなど)や送迎にかかる費用、行事にかかる費用などは無償化の対象外です。



確認しておこう！ 無償化後の給食費

施設	無償化後の対応	減免など
幼稚園、認定こども園(1号認定)	主食費、副食費を施設で徴収	有 ^{※1}
保育園、認定こども園(2号認定)	保育料とは別に副食費を施設で徴収。主食は、持参または別途徴収	有 ^{※2}
保育園、認定こども園など(3号認定)	保育料に主食費と副食費を含む	—

減免は、年収360万円未満相当の世帯の子どもと、第3子以降の子どもの副食費が免除になります。第3子の考え方は次のとおりです。

- ※1 第3子は、小学3年生までの子を第1子として数える。
※2 第3子は、18歳未満の子を第1子として数える。

10月1日
受付開始

- ・保育園
- ・認定こども園
- ・地域型保育施設

令和2年度

園児を募集します

▶問い合わせ 図保育課 ☎ 0287(46)5536



知っておこう！ 施設や認定区分

いろいろな施設の種類や認定区分があるけど、どう違うの？

	保育園	幼稚園	認定こども園	地域型保育施設
★特徴	就労など家庭で保育できない保護者に代わり保育する施設	小学校以降の教育基礎を作るための幼児教育を行う学校	幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設	19人以下の少人数で子どもを保育する施設
🎂年齢	0歳児～小学校就学前(2、3号認定)	満3歳児～小学校就学前(1号認定、認定外)	0歳児～小学校就学前(1、2、3号認定)	0歳児～2歳児(3号認定のみ)
🕒時間	夕方までの保育、園により延長保育を実施。土曜日の利用も可能	昼過ぎ頃までの教育時間に加え、園により午後や土曜日、長期休業中の預かり保育などを実施	(2、3号認定の場合)夕方までの保育と園により延長保育を実施。土曜日の利用も可能	夕方までの保育と施設により延長保育を実施。土曜日の利用も可能

認定区分	対象(1日の教育・保育時間)	利用できる施設
1号認定	満3歳以上で、 昼間、教育 のみを必要とする子ども(4時間)	保育園、認定こども園
2号認定	満3歳以上で、 朝夕も含めた保育 を必要とする子ども(8時間か11時間)	
3号認定	満3歳未満で、 朝夕も含めた保育 を必要とする子ども(8時間か11時間)	保育園、認定こども園、地域型保育施設



確認しておこう！ 申し込み手続き

利用する施設によって手続きが異なります

幼稚園、認定こども園(1号認定)		保育園、認定こども園、地域型保育施設(2号・3号認定)
申込受付中 ※事前見学や説明会については、各園に直接問い合わせてください。	📅申込期間	・1次 10月1日(火)～11月7日(休) ・2次 11月8日(金)～12月27日(金) ・3次 来年1月6日(月)～30日(休)
入園申込書 ※認定こども園の申し込みは、申請する保護者の個人番号が確認できる書類と身分証明書が必要。	📄必要書類	入園申込書、重要事項チェックシート、保育の必要性を証明する書類(事由によって必要書類が異なります)、申請する保護者の個人番号が確認できる書類、身分証明書
各幼稚園、各認定こども園	🏠配布場所 申込場所	図保育課、図子育て支援課、図総務福祉課、常根出張所 ※申込書類は市ホームページからもダウンロードできます。
①幼稚園などに直接利用申し込み ②幼稚園などから入園の内定を受ける ③幼稚園などを通じて市に認定の申請 ④幼稚園などを通じて市から認定証を交付 ⑤幼稚園などに入園の手続き	👤申し込み 手続き	①市に「保育の必要性」の認定と保育園などの利用希望を申し込み ②市から認定証を交付 ③希望や施設の空き状況により市が利用調整 ④利用先決定後、入園の手続き

手続き完了